



様式第4号（第6条関係）

令和4年 5月20日

富士見市議会議長 齊藤 隆浩 様

会派名 草の根  
代 表 今成 優太

行政視察・研修（政務活動）報告書

下記のとおり、行政視察・研修（政務活動）を実施しましたので、報告いたします。

記

- 1 期 間 令和4年5月13日（金）
- 2 参加者名 今成優太、勝山祥、加賀奈々恵、村元寛、熊谷麗
- 3 場 所（行政視察地・研修場所）  
茨城県猿島郡境町
  - ・道の駅さかい(境町1341-1)
  - ・境町高速バスターミナル（境町大字西泉田1230-1）
  - ・境町ニコニコパーク（境町上小橋540 境町文化村敷地内）
  - ・境町アーバンスポーツパーク（境町560-3）
  - ・SAKAI Tennis court 2020（境町上小橋560-1）
  - ・境町ホッケーフィールド（境町蛇池1210-13）
  - ・ホテルスタンバイリーグさかい（境町蛇池706-1）
  - ・S-study&heart トレーニングジム（境町松岡町2173-8）

#### 4 調査・研修概要

##### (1) 「スポーツ行政」について

境町ではスポーツを核としたまちづくりを目指している。2020年3月に、オリンピック基準のホッケー場、テニスコート、柔道場、アーバンスポーツパークを整備した。今年の6月には、人工サーフィン場を整備予定である。

こうしたスポーツ施設の課題としては、

- ①建設費がかかること
- ②運営管理費がかかること

の二つのデメリットが挙げられるが、境町では

- ①補助金やふるさと納税を活用し町の持ち出しを減らして施設を設立したこと
- ②複数施設をまとめて一社に委託し、維持管理費用を不要としたこと

で課題を克服している。

例えば、境町のホッケーフィールド場、テニスコート、アーバンスポーツパークは企業からの「企業版ふるさと納税」を活用して整備した。整備にかかる費用は全額寄附のため、町の持ち出しはなかった。

上記の施設のクラブハウスは、簡易なコンテナで作成しているため、災害時には被災地に移設して、応急仮設住宅や災害公営住宅として活用できるようにしている。各施設については、一社に一括して指定管理を委託することで、指定管理料を抑えている。

また、スポーツを核とした街づくりのために施設だけではなく、人材の登用も積極的に行っている。2021年11月からは各スポーツで活躍されている第一線の方を地域おこし協力隊として採用をしている。

例えば、BMXフリースタイル業界で活躍する方は境町に移住し、施設の職員として働くだけではなく、子どもたちに向けたBMX教室を開催し第一線級の指導を行っている。他にもJリーグで活躍した選手が地域おこし協力隊として監督に就任している。

施設を整備することで、質の高いスポーツ選手に魅力を感じていただき移住をしていただくことで、今後、地域の子どもにもスポーツに触れる機会を増やしていきたいとの見解であった。

##### (2) 町内施設の見学

・境町高速バスターミナル

2021年7月にオープンした。最短90分で東京駅に行くことができるため、通勤・通学に活用してもらうことが狙い。

・境町ニコニコパーク

境町ニコニコパークは2018年9月にふるさと納税における寄附金等を活用し、オープンした。大型の屋根を設置しており、雨でも遊べる環境作りに努めている。ボーンレンドなど、子どもに人気の遊具も設置している。

また、パーク内には歯科医が運営に携わるカフェがあり、食育指導を行っている。

・境町アーバンスポーツパーク

2021年3月に、フランス・HURRICANE（ハリケーン）社設計の常設としては日本初となる世界大会が開催可能なレベルのアーバンスポーツパークを開設した。

総事業費は約2億2,400万円だが、そのうち町の持ち出しは25%（約5,600万円）のみで、その他は国の地方創生拠点整備交付金、地方交付税で賄っている。

アーバンスポーツの総合国際大会である「FISE エクストリームスポーツ国際フェスティバル」を誘致できる規模で、2021年には「BMX JapanCup」が開催され、世界トップレベルで活躍する選手が多数出場した。

・SAKAI Tennis court 2020

2020年3月、東京五輪会場、US オープン会場をはじめとした世界大会などで採用されているデコターフ仕様のテニスコート。屋外と屋内のコートがそれぞれある。

・境町ホッケーフィールド

2020年3月に「ウォーターベース人工芝」を採用したオリンピック基準のホッケー場を設置した。

アルゼンチン共和国から要望を受け、オリンピックに合わせて設置した。

ホッケーフィールドのクラブハウスについては整備費が約1億3,000万

円であるが、企業版ふるさと納税の取組により、町の持ち出しはなかった。

また、クラブハウスは災害時に移動ができ、災害公営住宅としても活用できるように設計されている。

ホッケー日本女子代表が当施設で合宿を実施するなど、様々な団体の利用実績がある。

・ホテルスタンバイリーグさかい

境町が運営している施設ではなく、民間が運営している施設ではあるが、スポーツの合宿などに活用されている。

こちらも災害時に移動ができ、災害公営住宅としても活用できるように設計されている。

・S-study&heart トレーニングジム

本格的なトレーニングができるトレーニングジムと児童が通室する英語学童がある。境町は、講師の手厚い配置や英検の受験料の全額負担など、英語教育に力を入れていることから、ジムの2階には英語学童を設置し、放課後でも英語に親しめる環境づくりを整備している。

(3) まとめ

国際基準の施設を整備することで、選手が集まり、移住し、地域がつくられていく様子を実感した。また、施設整備には費用がかかるが、指定管理を一括とすることや、企業版ふるさと納税を活用することで費用が抑えられるということを理解した。

財源の生み出し方など、富士見市でも参考にしたい取組である。